

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23503	栄養士実力認定試験対策講座 Preparatory Course for Qualifying Test of Working Knowledge of Dietitian	鈴木幸男 横田正山 本敦子 熊崎稔子 服部哲也 大津ゆみ子		専門	1	必修	2年前期専門

科目の概要

栄養士実力認定試験は、栄養士の資質向上と学力の均一化を目的に、厚生労働省認可全国栄養士養成施設協会が主催して行われる試験で、栄養士・管理栄養士養成施設に在学中の者や卒業生が、自分自身の知識・実力を知る機会として実施されています。栄養士履修課程の科目から85題が出題され、結果はA・B・Cの3段階で評価されます。この授業では、1年次及び2年前期に習得した栄養士に必要な専門基礎科目と専門科目の基礎的内容を再確認し、不足分野の知識の充足を目指すと同時に物事を科学的に判断する能力も習得すること、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力の発揮していくものとしている。特に、課題を見極める力の向上を図る。

学修内容	到達目標
① 専門基礎科目と専門科目の基礎的内容を再確認し、再獲得する。 ② 専門科目と専門科目の関連性を再確認し、再獲得する。 ③ 科目ごとに模擬試験を実施し、理解度を向上させる。	① 専門基礎科目と専門科目の基幹的内容と枝葉部分の専門科目を習得することができる。 ② 専門基礎科目と専門科目の関連性から習得不足を認識し、課題箇所を理解して、再獲得することができる。 ③ 科目ごとに実施する模擬試験で60%以上の正解を得ることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	栄養士実力認定試験のA判定獲得に向けて指示がなくとも、毎日の自学に取り組む。特に、知識獲得のために、教科書や過去問題を使用して自己学修をする。
	働きかけ力	
	実行力	到達目標を確認し、困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測で判断するのではなく、事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	習得不足の科目を中心に、期間を決めて学修する自己学修する。計画どおりに進まない時は計画を見直し、修正ができる。
	創造力	物事を考える時には固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現でき、発表の仕方を工夫して表現できる。
	傾聴力	グループワークでは、他人の意見には「うなづき」「相づち」等で聞く姿勢ができ、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、円滑に授業が進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：栄養士実力認定試験過去問題集（全国栄養士養成施設協会編）

他科目との関連、資格との関連

他学科との関連：公衆衛生学、社会福祉概論、解剖生理学、生化学、食品学、食品衛生学、栄養学、臨床栄養学、栄養指導論、公衆栄養、調理学、給食管理学

学修上の助言	受講生とのルール
通常の授業とは異なるが、演習問題、過去問題等で正答を得られなかった該当科目は、教科書や文献、配布プリントで理解度を高める。不明な点は担当教員に質問をし、課題を見極めるようにしてください。	演習問題や過去問題については積極的に対応し、提出期限が求められている課題等は期限内に対応する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	90	①	✓			科目ごとに実施する演習問題及び過去問題の正答率で評価する。実力認定試験用の五択問題を主に出题するが、担当者が作成した問題では課題箇所の把握と理解、正答理由を記述できる様式で作成し、特に課題を見極める能力と課題解決が図れるようにする。	
				②	✓				
				③	✓				
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
		レポート		0	①				
					②				
					③				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①						
			②						
			③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①				（主体性） 栄養士実力認定試験対策講座の目的を理解し、進んで取り組みを行うよう努力する。 （実行力） 決めた目標に向かって進めることができる。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （計画力） 現状を分析し、課題を解明し、それらを解決するプロセスを明らかにして準備することができる。 （創造力） 物事を考える時には固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えることができる。 （発信力） 目標に向かって必要な情報を発信することができ、工夫して効果的に対象者に伝達する。 （傾聴力） 他人の意見には耳を傾け、自らに自分の意見を述べることができる。 （規律性） 無断欠席はしないこと。欠席した場合は欠席届を提出し、欠席フォローレポートを受け取り、期限までに提出すること。レポートの提出状況で評価する。	
				②					
				③					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) = 筆記試験正答率90%以上 A (優) = 筆記試験正答率80%以上	B (良) = 筆記試験正答率70%以上 C (可) = 筆記試験正答率60%以上

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 講義・演習 (公衆栄養) 担当：鈴木	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 公衆栄養学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 生化学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
2	講義・演習 (生化学) 担当：横田	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 生化学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 栄養学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
3	講義・演習 (栄養学) 担当：横田	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験正答率が60%以上	(復習) 栄養学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 臨床栄養学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
4	講義・演習 (臨床栄養学Ⅰ) 担当：服部	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 臨床栄養学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 調理学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
5	講義・演習 (調理学Ⅰ) 担当：大津	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 調理学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 食品衛生学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
6	講義・演習 (食品衛生学) 担当：鈴木	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 食品衛生学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 公衆衛生学・社会福祉概論の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
7	講義・演習 (公衆衛生・社会福祉概論) 担当：ゲスト講師	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 社会福祉概論・公衆衛生学の過去問題を学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 食品学各論の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
8	講義・演習 (食品学各論) 担当：山本	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	(復習) 食品学各論の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 (予習) 給食管理論の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	講義・演習（給食管理論） 担当：鈴木	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）給食管理論の過去問題を自己学修し、苦手分野を理解する。 （予習）臨床栄養学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	講義・演習（臨床栄養学Ⅱ） 担当：服部	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。義・演習	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）臨床栄養学の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 （予習）栄養指導論の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	講義・演習（栄養指導論） 担当：熊崎	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表や解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）栄養指導論の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 （予習）ライフステージ栄養の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
12	講義・演習（ライフステージ栄養） 担当：熊崎	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表と解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）ライフステージ栄養の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 （予習）食品加工学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
13	講義・演習（食品加工学） 担当：山本	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表と解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）食品学各論の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 （予習）調理学の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
14	講義・演習（調理学Ⅱ） 担当：大津	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表と解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）調理学に過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。 （予習）総合問題の過去問題を自己学修する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	講義・演習（総合問題） 担当：鈴木	講義・演習 グループディスカッション 模擬試験の正答発表と解説を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	演習問題や模擬試験の正答率が60%以上	（復習）総合問題の過去問題を自己学修し、苦手な分野を理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力